

2011・12・18(日) 銀座 鈴木宗男氏の国政復帰待望デモ



「 TPPや消費税増税と余計な
ことを考えず(震災からの)
復興一点張りでやるべきだ 」

(十勝毎日新聞社ニュース)

鈴木宗男さんを、また国政へ！

12月6日、一年間の服役を経て、新党大地代表・鈴木宗男さんが仮釈放となりました。東京地検特捜部の国策捜査により収賄罪などに問われながら、終始一貫、潔白を訴え、現在も「生涯政治家」として政界復帰をめざす鈴木宗男さんを応援します。

【国策捜査】 02年、鈴木さんは北海道の林業会社へのあっせん収賄容疑で東京地検特捜部に逮捕され、437日間の拘留・訊問を受けました。取調べ過程で、鈴木さんは、「別件逮捕ではないか？ M物産のディーゼル発電施設で立件するためじゃないのか？」と担当検事に詰問すると、「世論に押されてやりましたが、マスコミに出たもので何ひとつ事件にすることができませんでした。しかし、それが捜査というものです」と返答されたそうです。「ふざけるんじゃない！ 国策捜査じゃないか」というと、検事は「はい、私たちは権力を背景にしていますので。先生がそう受け止められるなら、その通りです」と明言したといひます。(鈴木宗男 『汚名』 講談社+α文庫)

外務省で「鈴木と親密な関係」とされていた佐藤優さんも偽計業務妨害罪で同02年、東京地検に逮捕・起訴され、512日間拘留。こちらも取り調べ中、担当検事からはっきりと言われたそうです。

検事「これは国策捜査なんだから。あなたが捕まった理由は簡単。あなたと鈴木宗男をつなげる事件を作るため。国策捜査は「時代のけじめ」をつけるために必要なんです。時代を転換するために、何か象徴的な事件を作り出して、それを断罪するのです」

佐藤 「見事僕はそれに当たってしまったわけだ」

検事 「しかし、法律はもともとある。その適用基準が変わってくるんだ。特に政治家に対する国策捜査は近年驚くほどハードルが下がってきている。」 (佐藤優 『国家の罌』 新潮文庫)

鈴木宗男さんは今年12月12日、「贈賄した」と公判で証言した(島田建設事件)北海道開発局の元港湾部長を、偽証で提訴しました。また、有罪判決に対して再審を要求する民事裁判を通じ、今後も無罪を訴えてゆくということです。

お読みください

講談社文庫から



この国では誰でも
明日は監獄の中だ!

講談社